

令和4年度 社会教育委員会議 第1回定例会 次第

日時 令和4年6月10日(金) 午後1時30分～
会場 丘の上結いスクエア飯田市公民館
3階大会議室 C, D

- 1 開 会 伊藤生涯学習・スポーツ課長
 - 2 委嘱状交付 熊谷教育長
 - 3 あいさつ 熊谷教育長
 - 4 委員・職員自己紹介 資料1
 - 5 説明・確認事項 伊藤生涯学習・スポーツ課長
 - (1) 飯田市教育委員会の組織について 資料2
 - (2) 社会教育委員の職務について 資料3
 - (3) 審議会等への委員の選任について 資料4
 - (4) 社会教育関係各課・館・所の令和3年度事業報告及び令和4年度の方針について 別冊資料
(第2次飯田市教育振興基本計画 中期4年間の取組(いいだ未来デザイン2028中期計画戦略計画)に掲げる重点事業)
 - 6 協議事項 伊藤生涯学習・スポーツ課長
 - (1) 座長、副座長の選出について
座 長:1人【委員】(県社教委連絡協議会副会長、飯伊社教委連絡協議会会長)
副座長:1人【委員】(県社教委連絡協議会代議員)

座長、副座長挨拶
- *以下の進行:座長
- (2) ムトスぷらざの運営について
公民館より 資料5 秦野副館長
共生・協働推進課より 資料6 小林共生・協働推進課長
- 施設の視察
- | | | |
|-------------|---|---------------|
| 飯田駅前図書館 | 資料7 | 滝本図書館長 |
| 教育センターびーいんぐ | 資料8 | 桑原学校教育課長 |
| 平和祈念館 | 資料9 | 伊藤生涯学習・スポーツ課長 |
- 活用についての意見交換
- (3) 新文化会館の建設に向けた事業プロセスについて 資料10 下井文化会館館長

(4) 社会教育関係団体の登録推移について

ジャンル 年度	学習・交流		スポーツ・健康		合計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
令和3年度	568	26,787	554	15,020	1,122	41,807
令和2年度	589	28,710	556	14,652	1,145	43,362
令和元年度	618	29,075	556	14,797	1,174	43,872
平成30年度	602	28,095	566	14,128	1,168	42,223
平成29年度	638	30,301	593	15,447	1,231	45,748

7 社会教育委員会議の活動についての意見交換・情報交換

*以下の進行:伊藤生涯学習・スポーツ課長

8 教育委員会各課・館・所からの報告事項

9 今後の日程

期 日	会議等名	会 場
6月15日(水)	県社教委連絡協議会総会・講演会	県総合教育センター
6月24日(金)	飯伊地区社教委連絡協議会総会・研修会	阿智村
9月15日(木)	県社会教育研究大会	県総合教育センター
10月中旬	飯伊社会教育委員連絡協議会 中北部ブロック研修会	飯田市当番
未定	社会教育委員会議(臨時会)	市内社会教育施設
10月27日(木)～ 28日(金)	全国社会教育研究大会	広島県広島市
11月10日(木)～ 11日(金)	関東甲信越静社会教育研究大会	山梨県甲府市
12月7日(水)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会 (正副座長)	飯田合同庁舎
令和5年3月下旬	社会教育委員会議 第2回定例会	市内社会教育施設

【長野県社会教育委員連絡協議会理事会(座長)】

6月15日(水) 県総合教育センター

7月15日(金) 長野県庁

11月25日(金) 長野県庁

2月 3日(金) 長野県庁

10 その他

11 閉 会

*終了後、社会教育委員研究会(社会教育委員による自主研究)

令和4年度 飯田市社会教育委員 名簿 (50音順 敬称略)

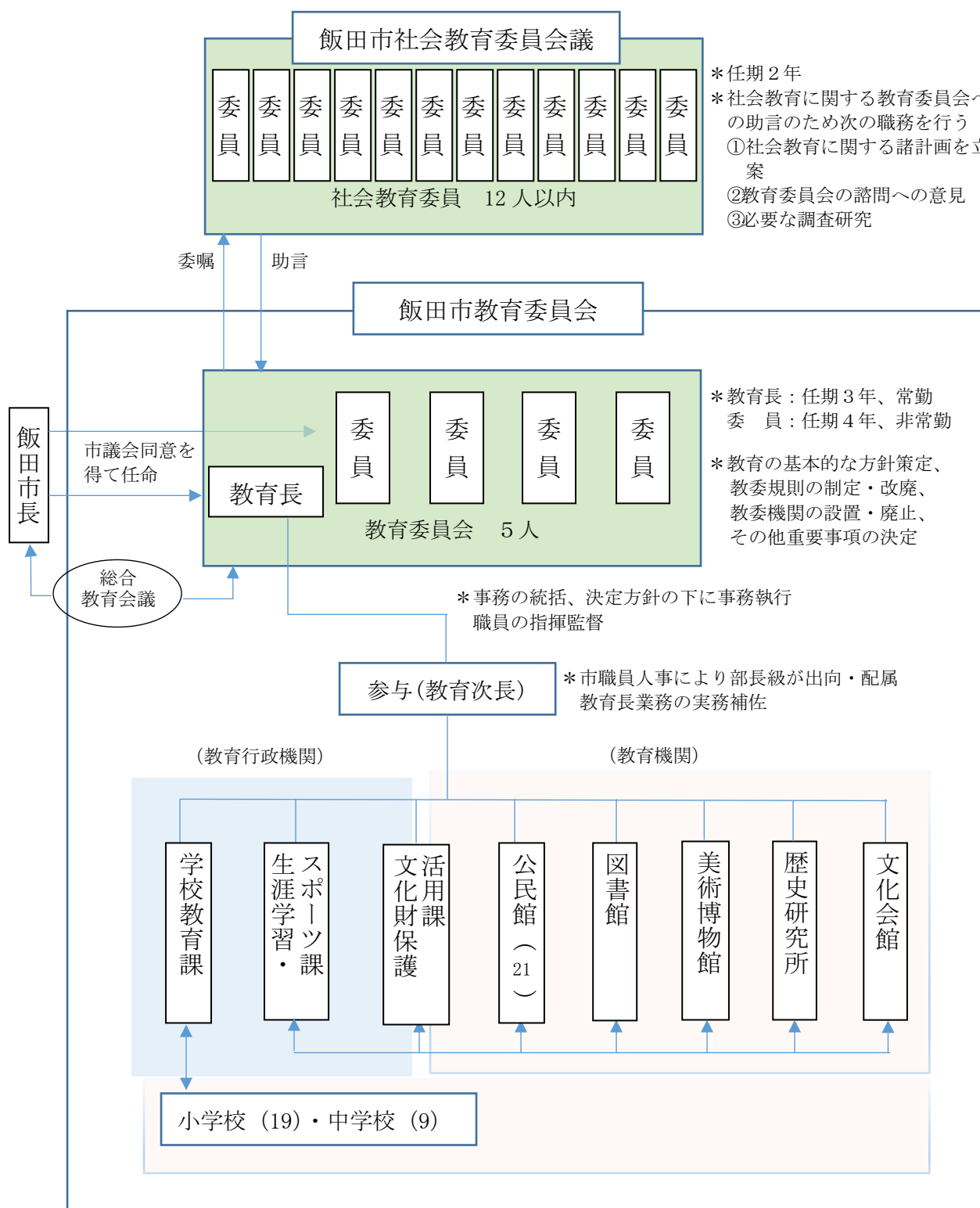
令和4年4月1日現在

氏 名	種 別
いまむら さちこ 今村 幸子	B 社会教育関係者
いまむら みつとし 今村 光利	B 社会教育関係者
かつまた ま り 勝又 真理	B 社会教育関係者
すずき まさこ 鈴木 雅子	B 社会教育関係者
たけうち みのる 竹内 稔	C 学識経験者
ながい ゆうこ 永井 祐子	C 学識経験者
なかじま まさあき 中島 正韶	C 学識経験者
ひらた むつ み 平田 睦美	C 学識経験者
みうら ひろこ 三浦 宏子	B 社会教育関係者
もちだ たかやす 持田 貴康	A 学校教育関係者 竜東中学校長
もりもと のりこ 森本 典子	B 社会教育関係者
やまぐち たかし 山口 隆志	A 学校教育関係者 下久堅小学校長

種別 A:学校教育関係者 B:社会教育関係者 C:学識経験者

教育委員会職員名簿			
職 名		氏 名	
教育長		熊谷邦千加	
参与(教育次長事務取扱)		松下 徹	
学校教育課長		桑原 隆	
学校教育専門幹		今井 栄浩	
生涯学習・スポーツ課長		伊藤 弘	
文化財保護活用課長		宮下 利彦	
歴史研究所副所長		牧内 功	
公民館副館長	秦野 高彦	社会教育係	本島 秀勇
文化会館長	下井 善彦		矢澤 健
中央図書館長	瀧本 明子		福澤 慎吾
美術博物館副館長	牧内 功		片桐 和子

飯田市教育委員会の組織及び社会教育委員の位置づけ



社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号) <抜粋>

第4章 社会教育委員

(社会教育委員の設置)

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

(社会教育委員の職務)

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。

(2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

(3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(社会教育委員の委嘱の基準等)

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

飯田市社会教育委員条例(昭和54年飯田市条例第7号)

(設置)

第1条 社会教育法(昭和54年法律第207号。以下「法」という。)第15条の規定により、本市に社会教育委員(以下「委員」という。)を設置する。

(委員の委嘱)

第2条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。

(定数)

第3条 委員の定数は、12名以内とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第5条 この条例に定めるもののほか、委員の会議その他委員に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

飯田市社会教育委員会議運営規定(昭和54年教委訓令第1号)

(趣旨)

第1条 飯田市社会教育委員条例(昭和54年飯田市条例第号)の規定に基づく、飯田市社会教育委員(以下「委員」という。)の会議はこの規定の定めるところによる。

(座長及び副座長)

第2条 委員の会議に座長及び副座長を置き、委員が互選する。

- 2 座長は、委員の会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときはその職務を代理する。
- 4 座長及び副座長の任期は1年とする。

(委員の会議)

第3条 委員の会議は、教育長が招集し、座長が議長となる。

- 2 委員の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委員の会議の通知)

第4条 会議開催の日時及び場所は、会議に提案すべき案件とともに、招集の日前2日までに委員に通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。

(定例会及び臨時会)

第5条 委員の会議は、定例会及び臨時会とする。

- 2 定例会は、年2回とし、臨時会は必要に応じ招集する。

(委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、会議の運営について必要な事項は、座長が会議に諮って定める。

審議会等への委員の選出について(令和4年度)

審議会等の名称	委員氏名 (敬称略)	任期
飯伊社会教育委員連絡協議会会長・県副会長	中島 正韶	R3～ 2年
飯伊社会教育委員連絡協議会理事・県代議員	永井 祐子	R3～ 2年
飯田市美術博物館評議員	今村 光利	R4～ 2年
飯田市歴史研究所協議会委員	中島 正韶	R4～ 2年
飯田市青少年問題協議会委員	三浦 宏子	R3～ 2年
青少年育成センター青少年育成推進委員	今村 光利	R3～ 2年
「人形劇のまち飯田」運営協議会	森本 典子	R3～ 3年
飯田市キャリア教育推進協議会委員	中島 正韶	1年
わが家の結いタイム推進協議会(校長会)	山口 隆志	1年
わが家の結いタイム推進協議会(校長会)	持田 貴康	1年
いいだ未来デザイン会議委員	永井 祐子	R3～ 2年

「ムトスぷらざ」の運営について



令和4年6月10日

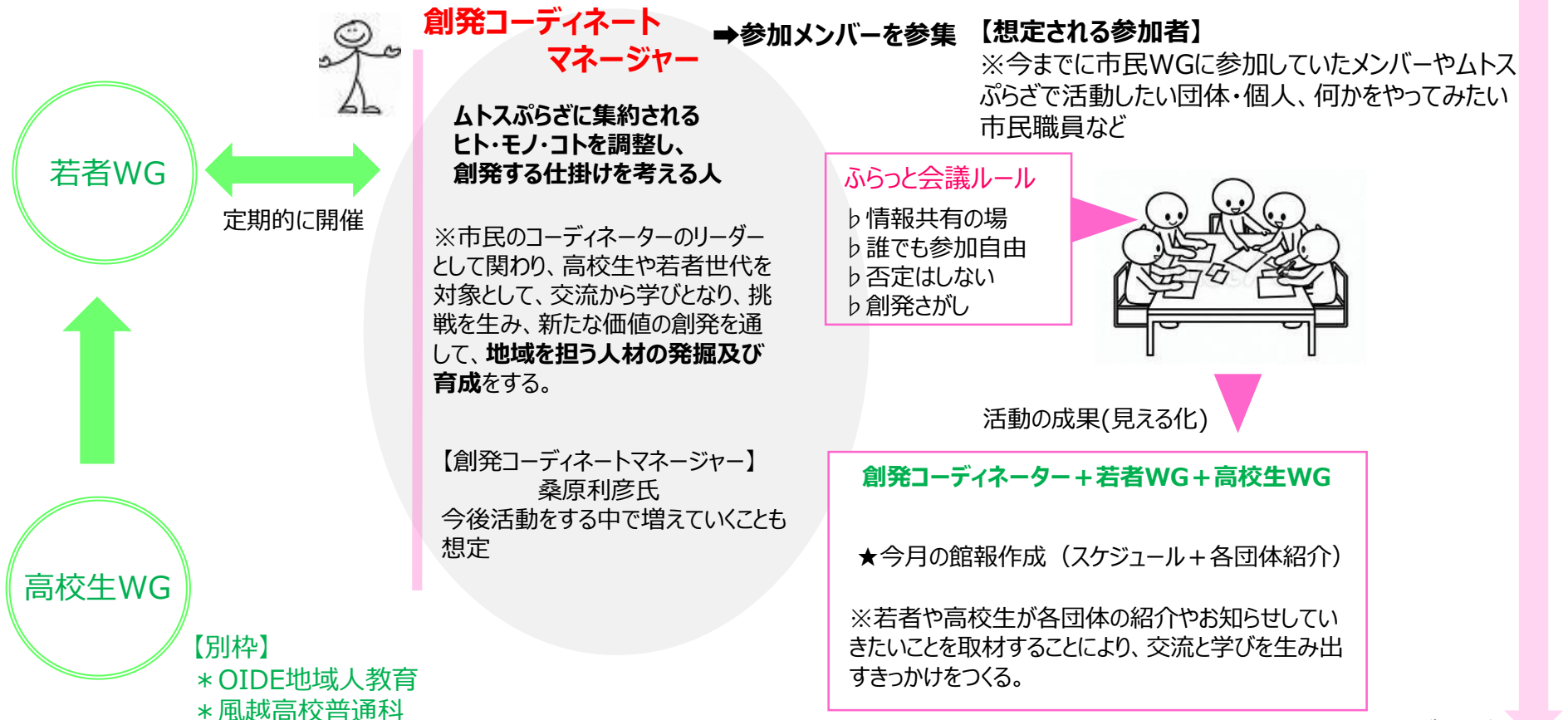


1 交流と創発を生み出す仕掛け

創発コーディネーターマネージャーを中心とした運営組織体制

関わる人すべてで創る・運営する・支える仕組みを構築

ムトスぷらざ ふらっと会議(月1回) ふらっとの意味＝平場で意見を交換し合う
フラット誰でも参加できる



職員ひとりひとりが「創発コーディネーター」として関わる

月1回庁内ワーキング(Zブロック)
(ふらっと会議後を想定)

庁内	公民館	共生・協働	学校教育	図書館	生涯学習	商業観光	結いターン	大学連携	産業振興
	駐在課	駐在課	教育支援指導主事勤務	司書勤務					
	Zブロック								



学校帰りの高校生編

電車の待ち時間

おやつと
飲み物買って
帰ろっ♪



会計の隣で困っていたのは
ブラジル人の女性



どうしよう
かしら…

2階の料理教室で利用する食材を運べず困っていた
ため、お手伝いすることに

私が運びます!

Thank you!



お礼に料理レシピをもらい、
次回は料理教室も参加する
約束をし、仲良くなった!



買物に来た女性編

特売のチラシをみて
フラッと買い物

今日はお肉が
特売なのよね♪



アンケートに
ご協力
いただけませんか?



入飯田に駅
前大学生が立
っていた

2階のフリースペースにお邪魔すると
学生のアンケート調査は
「飯田の焼肉」についてだった!



まさか!
今日うちが焼肉するって
わかったのかしら!?

なんと一週間も飯田に
滞在して学んでいるぞ。
なんと、去年も来て
まちづくりの
研究をしていた大学生だった



明日飯田の
焼肉のタレ
お届けするわ!
食べてみて。

Iターン世帯 編

最近飯田に住み始めたご夫婦
飯田の情報収集のため2階へ



XR室では、ナミキちゃんが
ごみの分別の仕方ゴミ袋の代金
まで教えてくれた



VRのゴーグルを覗いてみると
天龍峡にあるりんご足湯に入るナミキちゃんを発見!



なんて素敵な景色!
空気がとっても
美味しそう

次の休みに天龍峡の
足湯入りながら
散策にいきましょう!



公民館利用者 編

以前より吾妻町の公民館を
拠点に利用していた絵画サークル

時間や料金も今まで
と一緒に安心♪



今日は活動後みんなでお食事会!
電車やバスも使えちゃう!



近いて
(・∀・)イネ!!

活動を見ていた高校生から
声を掛けてもらった!



上手ですね!
そして楽しそう!

美術部に所属
してるんです!

「絵画」を通じて活動が広がった!



次の発表会、
一緒にできるから
楽しみます!

5/21
(土)

11:00~12:00 (2Fオープンデッキ)

アコースティックコンサート

出演:ユーラシア・レビューほか

14:00~14:20 (2F多目的ホール)

人形劇DALA

『ころころっ!』



15:00頃~19:30頃 (2Fオープンデッキ)

人形劇回「の」 複数回公演

『人形劇「残り3分劇場」』

- | | |
|---------|---------|
| ① 14:57 | ⑤ 16:57 |
| ② 15:27 | ⑥ 17:27 |
| ③ 15:57 | ⑦ 18:57 |
| ④ 16:27 | ⑧ 19:27 |

各回長くて
3分程度の
人形劇が
行われます。

17:30~18:30

アコースティックコンサート

飯田市民館が移転しました!



移転しました!!
丘の上結いスクエア内
(旧ピアゴ飯田駅前店)
2F・3F (ムトスぷらざ)

ムトスぷらざ

MUTOSU PLAZA

OPEN!

オープニングイベント



- | | |
|--------|-----------------------|
| ■ 開館時間 | 8:30~22:00 |
| ■ 休館日 | 年末年始
(12月29日~1月3日) |
| ■ 利用申込 | |
| ■ 受付時間 | 平日8:30~17:15 |
| ■ 受付場所 | 飯田市民館窓口(2階) |

ムトスぷらざ

■ 住所 〒395-0086 飯田市東和町2丁目35番地
丘の上結いスクエア内2階、3階
■ 問合せ 飯田市民館 ☎0265-22-1132

5/22
(日)

10:00~11:00 (2Fフリースペース内)

ましゅ&Kei+わたちゃん
『エンジョイ・ザ・ステージ』ましゅ&Keiとわたちゃんによる、大人も子どもも楽しめるステージ!
人形劇に音楽など様々なパフォーマンスを堪能しよう!

11:30~11:50 (2F多目的ホール)

人形劇団なむなむ

13:30~15:00 出演:ピピンほか

アコースティックコンサート

- 駐車場の案内
- 地下駐車場(無料) ツルハドラッグをご利用の方、障がいをお持ちの方、ご高齢の方が駐車できます。
 - 西側駐車場(無料、23台)
 - ムトスぷらざをご利用の方が駐車できます。
 - 飯田駅市営駐車場(有料、70台)
※9月末日まで2時間無料!
 - 駐輪場(無料、20台)

アコースティックコンサート出演バンド



ほか

お願い事項

※公共交通機関を利用しましょう。※大勢の方のご入場の場合、ご覧いただけない場合があります。
※演出の都合上、マスクを外しての演技があります。※出演者は検査キットで陰性を確認し上演します。

ガイナレ鳥取戦「パブリックビューイング」

「2022明治安田生命 J3リーグ 第11節ガイナレ鳥取vs 松本山雅FC」のパブリックビューイングを開催

当日は完成間近の喫茶山雅飯田店を内覧も実施

対象試合

日	時	6月5日（日）13:00キックオフ
大	会	2022明治安田生命 J3リーグ第11節
対	戦	ガイナレ鳥取 vs 松本山雅FC
試合会場		A x i s バードスタジアム

主 催

株式会社松本山雅

共 催

飯田市公民館

協 力

山雅後援会 飯伊支部



1 「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」の実現に向けて公民館が果たすべきこと

(1) 地域自治を担う人材の育成

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域の自治組織の構成団体でもあるという2面性を持っています。この特性を生かし、社会教育機関としての視点から地域を見つめ、地域の諸団体と連携・協力を図りつつ、持続可能な地域づくりに向けて次代を担う人材を育てていきます。

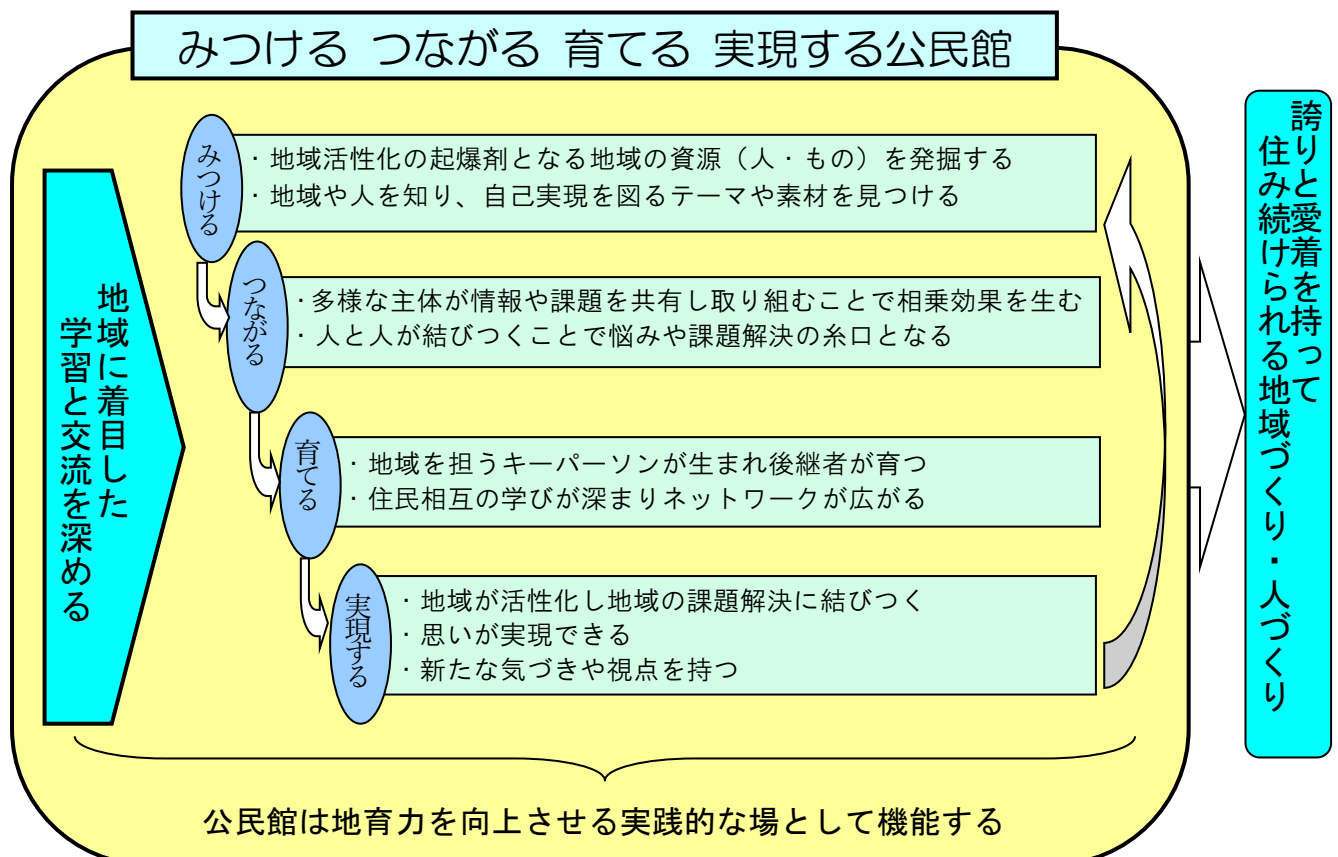
(2) コロナ禍でも“できる”ことを考えた住民主体の活動の推進

近年の社会環境の変化により、地域への帰属意識や住民相互の人間関係の希薄化がみられます。また、コロナ禍の影響により、住民に身近な区域で住民主体で運営される分館活動の制限が余儀なくされています。公民館が培ってきた自分たちでつくり上げていく行動理念や協働の精神を大切にしながら、住民が地域を想い、支え合う、心豊かな暮らしを紡ぐ公民館活動を推進していきます。

(3) 地域を見つめる学習と交流の推進

グローバル化による格差や人口減少、少子化・高齢化に伴う地域の維持、高速交通網の整備に伴う地域の変化への対応といった従来の課題に加え、コロナ禍により社会や個人の行動が大きく変容してきています。誰もが暮らしやすい地域にするには、足元の生活課題や地域課題の解決にほかならず、今まさに課題に向き合った学習活動が求められています。また、新型コロナウイルス感染症との共生時代の交流事業を考え、人と人とのつながりを維持していかなければなりません。

公民館は今後も、「みつける つながる 育てる 実現する場」として、地域に着目した学習と交流を深めていきます。



2 公民館の具体的な役割

公民館は、地域の課題解決に向けた学習と交流を通して自治意識の醸成を図り地域づくりの担い手を育みます。また、地域で活動する各種団体と連携し学習活動を充実させていきます。そのために、具体的には次のような場づくりを進めます。

- (1) 誰もが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を生かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に生かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 生涯にわたる学習や地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として認め合い暮らせる「人間尊重の精神を学ぶ場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子供たちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域の様々な出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

1973（昭和 48）年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。1971（昭和 46）年から 2 年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の 4 原則」が確認されました。

時代は変化しても、この理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

- (1) 地域中心の原則
まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。
- (2) 並立配置の原則
地域の規模や特徴は異なっても、公民館は 20 地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。
- (3) 住民参画の原則
公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。
- (4) 機関自立の原則
教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

4 公民館活動の展開について

- (1) 地域の諸団体と連携・協力を図りながら、地域課題や生活課題の解決に向けた学習活動を展開するほか、住民ニーズに応える学級・講座を開催し、学び合いの土壌を更に耕します。
- (2) 専門委員会活動を地域内がつながる大切な機会と捉え、他者との関係性を築くとともに、地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (3) 分館は最も身近なコミュニティ形成の場であり、日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど、住民同士のふれあいを大切にしながら主体的に活動を展開します。

令和４年度 飯田市の公民館活動 重点目標

- 1 地域課題・生活課題を捉えた多様な学習と実践に取り組むことで、地域への関心や、自治の意識と自治の力を高めます。
- 2 コロナ禍における新たな学習や交流のスタイルを検討し、専門委員会や分館において必要な事業を住民起点で皆で考え合い、関係団体とも連携・協力し、地域コミュニティの維持や学習意欲に応える活動を実践します。
- 3 次世代の地域づくりの担い手を育むために、幼保・小・中・高校生・若者と地域の大人を結び、相互に学び合う場をつくります。
- 4 地域と家庭と学校の三者がそれぞれの役割を考え連携・協働した活動につながるよう「学校運営協議会等」を充実するとともに、「いいだCS（コミュニティスクール）協働活動」を関係団体と共に実施し子供の成長を支えます。

令和４年度 飯田市の公民館活動 事業計画

令和４年度飯田市の公民館活動基本方針及び重点目標を念頭に、次の主な事業に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症との共存を前提に、学びと交流が停滞しないよう、状況に応じた計画、または実施可能な手段を講じて、“できること”に取り組んでいきます。

1 地区公民館と市公民館との合同による事業展開

(1) 第60回飯田市公民館大会【重点目標１】

公民館関係者や広く市民を対象に、１年間の公民館活動を振り返り、今後の活動に生かしていく機会として、令和５年２月１９日（日）に開催します。

(2) いいだ人形劇フェスタ 2022【重点目標２、３】

人との繋がりや地域資源の保存継承など、様々な可能性を持つ場として捉え、８月４日（木）～７日（日）に開催します。地区実行委員会の活動を充実させ、地区からフェスタを盛り上げます。

(3) 飯田市二十歳の集い【重点目標１、３】

該当者の居住地域・出身地域を単位として、令和４年度の成人を祝う式典を、令和５年１月８日（日）に開催します。

各地区では、該当者を含めた実行委員会を組織し、該当者が多様な活動を通じて地域を知り、地域学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

(4) 高校生等次世代育成事業【重点目標１、３】

飯田 OIDE 長姫高校の地域人教育を支援するほか、高校の実状に応じた探究学習を支援します。成年年齢が 18 歳に引き下がります。公民館は社会教育機関として、中学生・高校生が地域の大人との関わりから、大人としての素養や、社会を観る力、課題を見つけ解決する力を育んでいきます。

(5) いいだCS（コミュニティスクール）協働活動【重点目標４】

公民館長（主事）が学校運営協議会の委員となりコーディネーターとして地域と学校をつなぐとともに、地域で育む子どもの姿の実現に向かって関係団体と共に「いいだCS（コミュニティスクール）協働活動」に取り組み子供たちの成長を支えていきます。

2 各地区では、公民館の役割や重点目標を認識しつつ、地域の実状や課題を捉え、専門委員会が主体的に事業を企画するほか、多様な分野の学級講座に取り組めます。

- (1) 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子供を安心して育てていくための継続的な学習
- (2) 青壮年を対象にした地域実践学習
- (3) 高齢者の経験や力を次世代や地域づくりにつなげる学習

- (4) 平和を尊び、多様性への理解を深める学習
- (5) 芸術文化に触れることで、地域独自の文化の保存・継承・創造につなげる学習
- (6) 郷土への関心を高め、愛着と誇りを育む学習
- (7) 心身の健康について関心を高める相互の学習
- (8) 自然保護や経済活動、再生エネルギー等、環境について考える学習

3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

(1) 高校生講座

世界とのつながりを意識しながら自身の行動や生き方、地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

創発コーディネーターと連携し、高校生を中心とした学習交流活動を支援します。

(2) 第46回飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマに、地元研究者を中心とした多種多様な分野の講座を開講します。

(3) 第46回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、7月3日（日）に開催します。

(4) 第41回飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により、11月13日（日）に開催します。

(5) 人権平和・多文化共生事業

平和祈念館と連携し、人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教室を柱とした多文化共生事業を展開します。

(6) 家庭教育支援事業

出産や育児等の不安を解消してもらうための妊婦さん講座や、親子で学び合う子育て講座を実施します。

(7) 「ムトスぷらざ」で展開される事業

図書館、平和祈念館、学習支援室やムトス活動支援機能が実施する事業と連携した次世代育成事業を実施します。

4 その他

(1) 第70回天龍峡夏期大学講座

地域課題や社会課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管し開催します。

(2) 公民館維持管理・施設整備事業

従前の窓口予約に加え、インターネットでの各公民館の利用予約を10月から開始します。

施設管理計画に基づき、計画的に改修や環境整備を進めます。

(3) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(4) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

(5) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題の解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。



ムトス飯田若者 助成事業ごあんない

ムトス飯田

***** 令和4年度 募集要領 *****

「ムトス」を合言葉に、地域をより良くしようとする活動を助成事業で応援します。

活動する皆さんの歩みに沿った応援ができるよう、年に複数回の応募機会を設けました。

「ムトス」とは、市民一人ひとりの「…をしようとする（セムトスル）」といった自発的な意志力を表したもので、飯田市のまちづくりの合言葉です。

1 地域づくり応援事業

対象者	飯田市内で、地域づくりに取り組む団体、個人 (まちづくり委員会・単位自治会・公民館分館を含む)
対象事例	1. 新しい地域づくり活動を応援します。 2. 子育てを楽しめる地域づくり活動を応援します。 3. 世代間交流が活発になる地域づくり活動を応援します。 4. 飯田の未来を担う人材の育成や人づくり支援活動を応援します。
対象事業	令和5年3月15日までに実施し、完了する事業
助成額	事業費の70%以内で、30万円が上限です。 20歳までの若者が対象の「若者助成」は、助成率100%です。

2 多様な主体が連携する協働事業

対象者	飯田市内で、地域づくりに取り組む団体 (まちづくり委員会・単位自治会・公民館分館を含む)
対象事例	2つ以上の団体が「連携協働し、新たに始める地域づくり活動」を応援します。 例) 町内会とNPO法人が役割分担して活動する… 例) 2つのまちづくり委員会が共通する目的課題に対し実施する事業… など
対象事業	令和5年3月15日までに実施し、完了する事業
助成額	助成額(上限30万円)を協働した団体で分配します。

※ コロナ対策費

対象者	上記1・2の事業の申請者で、コロナ対策費が必要な申請者。 ※令和3年度から、特別に設けている助成です。
対象事例	消毒用品・マスクなどの消耗品、オンライン会議のためのウェブ環境の整備など
助成額	上限5万円 助成率100% ※上記1・2の申請に、加算されます。



ムトスチャレンジ助成事業要項

～ムトスの精神で活動する第一歩を後押しします～

(助成の趣旨)

わたしたちの地域のために、身近なことから取り組みたいという方々を応援するため、気楽に挑戦できるよう「チャレンジ助成事業」を行います。

1 助成対象団体

飯田市内で活動し、チャレンジしようとする活動に自主性がある団体や個人

2 助成対象事業

- (1) 地域や市民に貢献する、また、元気になるような多様な活動を対象とします。
- (2) 他の助成金を申請しない事業であり、活動の様子を公開できる事業を対象とします。

3 助成限度額

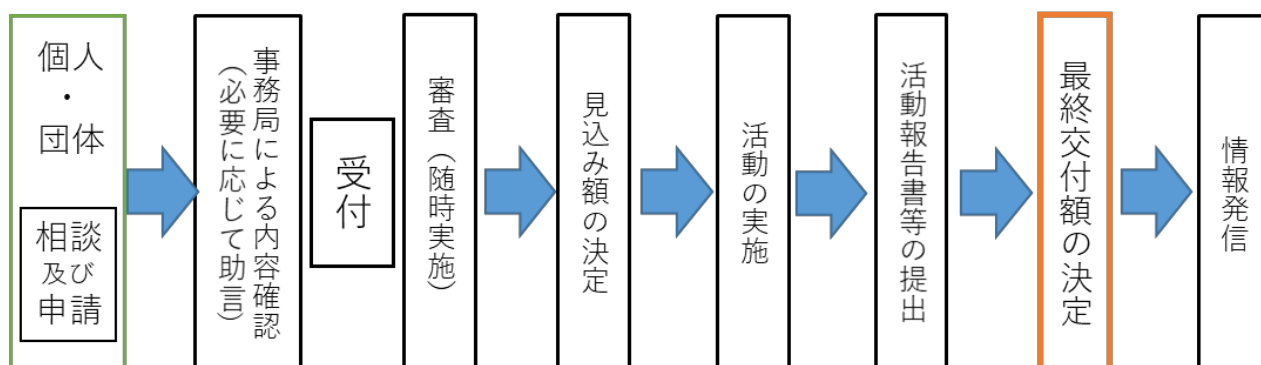
上限 5 万円（助成額は対象経費の全額）

4 申請時期や方法

- (1) 別紙 1 の「チャレンジ助成事業申請書」に記入し、提出してください。
- (2) いつでも申請可能です。※活動したい時にできるよう、募集期間を設けていません。
- (3) 申請書の書き方や、事業の組み立て方など、不明な点はお気軽にご相談ください。
- (4) 同じ内容で、複数回実施する場合は、2 回まで申請ができます。

5 申請から事業実施、報告と発信までの流れ

流れ



6 提出先及び問合せ先

ムトス飯田推進委員会事務局

〒395-0086 飯田市東和町 2 丁目 35 番地 丘の上結いスクエア 2 階 ムトスぷらざ内

TEL0265-22-4560 (直通)

メール danjo@city.iida.nagano.jp

高校生をメインターゲットとした中央図書館のサテライト施設

気楽な居場所

〔気軽に 親しみやすく〕

- ・高校生の嗜好・ニーズに応える本
- ・若い世代の“読みたい”を引き出す本

小説、ライトノベル、エッセイ、
コミック、部活応援、音楽、趣味、
友達、恋愛、人間関係、電車で読める本、
(高校生、利用者も発信)

本との出会いをつくる

〔読んでみまい・調べてみまい・やってみまい〕

- ・高校生の探求的な学びを誘う仕掛け
- ・新たな発見や挑戦につながる本

将来を考える(仕事、大学、生き方)、
飯田を知る、郷土の人物、まちの過去・現在・未来、知りたい・やりたいを引き出す、世界を知る
(高校生へのメッセージの棚)

学び合いの場をつくる

- 本から学びが広がる企画の開催(例)
読書会、ブックカフェ、ビブリオバトル、まちを歩いて調べよう 等
- 参加・体験・企画できる
本の紹介 POP 作成、コーナー作り、講座運営
- 他講座や他機関との協働
各講座の学びを深める本の提供

自発的な読書

知りたい・やりたいを見つける

地域を知り、地域の魅力を作る

交流し学びや活動が広がる

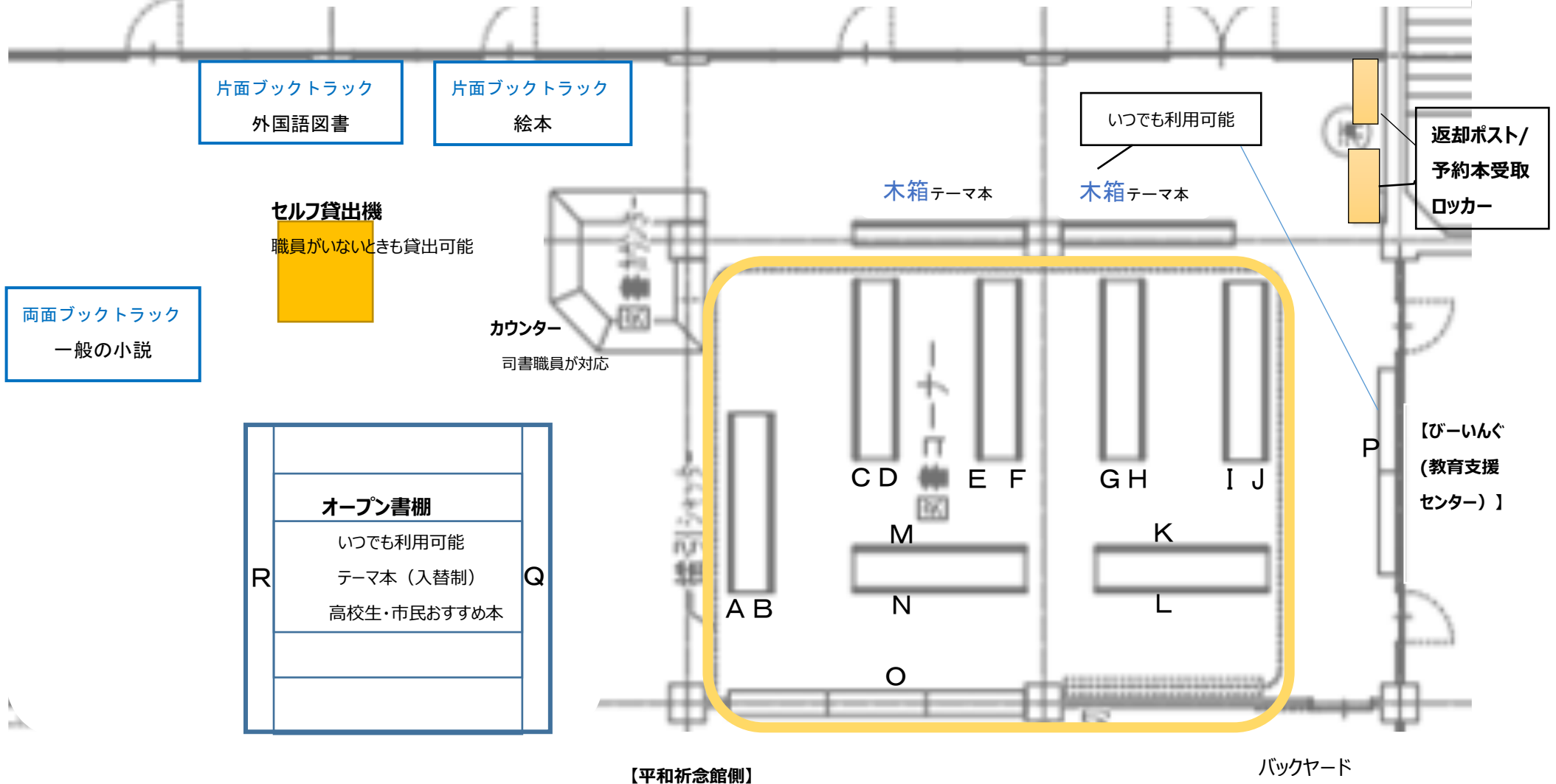
図書館基本機能(本と情報の提供) 高校生のやってみたい気持ちを応援

- 図書館システムを導入し、本の貸出・検索・予約(南信州図書館ネットワークからの取り寄せ)ができる。
セルフ貸出機、図書検索機、返却ポスト、(予約本受け渡しロッカーを設置)
- シェアスペースとオープンにつながる本との気軽な出会いの場
 - ・オープン書架の本は駅前プラザ開館中(8:30~22:00)はいつでも読むことができ、セルフ貸出機で借りることができます。
 - ・シェアスペースでゆっくり本を楽しんだり、友達同士で本を眺めたりできます。
- 人と本をつなぐ司書を配置 ※職員がいないときには利用できない棚があります。裏面-
 - *職員配置時間 ●月・水・金曜日; 15:00~20:00(祝日は配置なし) ●土・日曜日; 10:00~18:00
 - *本を探すお手伝い、活動を行いたい時の参考になる本の紹介や取り寄せなどのサポート。探求学習の資料収集支援など。
- 読書活動を通じて、高校生のやりたいことを実現する場
令和4年度の予定: 参加のきっかけ作り、高校の図書委員会やふらっと会議などで意見を聞きながら「やってみたい」を支援

飯田駅前図書館蔵書レイアウト

R4.5.19 現在

約 130 m² 約 10,000 冊



【シェアスペース】

- ・気楽に本を眺める、手に取る
- ・友達と一緒に楽しむ

- | | | | |
|-----------------|--------------|------------------|--------------|
| A 世界を知り日本を知る | B いいね！飯田・下伊那 | C・D 勉強は案外おもしろい | E 将来を描く |
| F 「自分」に向き合う | G～I The 小説 | J 手軽に気軽に文庫小説 | K 世界の文学に触れる |
| L 「好き」に夢中 | MN 「好き」を見つける | O マンガがなくちゃはじまらない | P 手軽に気軽に文庫小説 |
| Q テーマ本、学習参考書・辞書 | R テーマ本 | | |

令和4年度 教育支援センター「びーいんぐ」運営計画

一 基本的な役割

市内の小中学生や中学生等の不登校支援の総合的な拠点として、不登校にかかわる相談を受け付け、学校や家庭、関係機関と連携して、個々の状況に応じた学びの場をみつけていく。

また、特に、学校や社会につながるができずに家庭に引きこもりがちになっている小中学生や中学校卒業生の学びの場とし自立支援を図る。

二 重点目標

1 情報収集と情報提供

学校毎の不登校調査やせいかつサポート定例会、自立支援連絡会により、市内の不登校児童生徒の実態と不登校支援の成果と課題を把握し、不登校に関する相談や情報提供に活かす。

2 ムトスぷらざの活用

家庭に引きこもりがちになっている小中学生や中学校卒業生に対して、ムトスぷらざの施設や事業等を活かしながら、子どもにあった活動を見出していく。

3 民間施設等との連携

民間施設等と連絡を取り合い、相談や施設体験を通して自分にあった居場所や学び場につないでいく。

4 所属場所や社会福祉施設等につながるまで、最高17歳までみとどける。

三 主な業務

1 不登校に関する 情報収集・ 情報提供	(1) 飯田市の不登校支援計画の立案 (2) 市内小中学校等の不登校児童生徒数等の把握 (3) 人間関係づくり担当教育支援指導主事との連絡調整 (4) せいかつサポート定例会での情報処理と共有化 (5) 夏体験活動の企画・運営 (6) 出席扱い等の事務処理 (7) その他	○三尾 ・大蔵 ・松島
2 不登校に関する 相談窓口	(1) 不登校に関する教育相談窓口 (2) 学校、市設中間教室、関係機関、民間施設等との連絡調整 (3) 教育支援センターや学校等での支援会議等の運営、参加 (4) 飯田長欠児童生徒支援ネットワーク協議会の企画・運営 (5) その他	○大蔵 ・松島 ・三尾
3 児童生徒等の 自立支援	(1) 学校や社会につながるができずに家庭に引きこもりがちになっている小中学生や中学校卒業生の相談・支援 (2) 関係する保護者や関係機関との面談、関係者のケース会議主催 (3) ムトスぷらざの施設や事業、人材の有効利用 (4) 公民館講座や周辺資源の活用 (5) その他	○松島 ・三尾 ・大蔵

飯田市における不登校支援

5つのアクション

① 誰一人取り残さないチーム支援

- ・「誰一人取り残さない」という気持ちを学校と関係者でチームとして共有
- ・学校に登校できる不登校傾向児童生徒は全職員でかかわる
- ・担任一人で抱えこまず、管理職が加わって支援会議を
- ・SSW や教育支援指導主事等を交えてのスクリーニング会議を実施
(「長期欠席の記録」シートの利用)

② 教育支援指導主事の支援

- ・中学校区不登校支援校長連絡会で管内の不登校状況や課題を共有
- ・月に2回の定例会議で市内の不登校支援の共有とスキルアップ
- ・学校を離れて支援を求めている家庭や子どもにかかわって対面相談等
- ・学校を超えての兄弟姉妹や小学校から中学校への連携した不登校支援
- ・教育支援センター「びーいんぐ」と連携し、学校外での居場所、学び場につなぐ

③ 教育支援センター「びーいんぐ」の活用

- ・不登校にかかわる相談窓口
(学校や家庭、関係機関や民間施設と連携し、個々の状況に応じた学びの場をみつけていく)
- ・追手町小学校や飯田東中学校内にある市設中間教室は、学校復帰をめざす場として利用
- ・家庭支援センター「びーいんぐ」は、学校や社会につながることができずに家庭に引きこもりがちになっている小中学生や中学校卒業生の自立支援の場として利用
- ・教育支援センター「びーいんぐ」は「ムトスぷらざ」の施設や事業を活用

④ 学校独自の取り組みへの支援

- ・学級編成替え、小学校高学年における教科担任制等の導入、校内中間教室の設置等
- ・学校外の公的機関や民間施設を活用したり、自宅で ICT 等を使ったりして学習に励んでいる子どものやる気を認める取り組み (市のガイドラインに沿った学校長の判断で指導要録上の出席扱いが可能、通知表などに励ましの評価)

⑤ ソーシャルスキルを身に着ける生徒指導研修会の活用

- ・不登校の予防的、開発的な支援として、児童生徒が人との関わり方のスキルやコツを身に着けるトレーニングの実施 (あいさつ、うなずき、丁寧な言葉、アイコンタクト等)
- ・一昨年度より講演いただいている曾山和彦先生 (名城大学) の3回目の講座を予定
(受講した担任が学級で実践し効果を上げている例も)

—戦争の惨禍の真実から、次世代に平和の大切さを語り継ぐために—

飯田市平和祈念館



ご案内

飯田市平和祈念館に展示・保管されている数多くの平和資料は、実際に戦争を体験された皆さんが身に着けた物や、使用していた品々です。いずれもご本人やご遺族から寄贈・寄託された貴重な資料です。

ごゆっくりご覧いただき、「戦争の惨禍」の真実から、私たち一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぐためのきっかけとなれば幸いです。

新文化会館の建設に向けた事業プロセスについて

文化会館

【各種会議の設置】

新文化会館整備検討委員会

.....◎基本理念、基本構想、基本計画について市長に対して意見・提案を行う組織（9～10回）
[20人程度] 利用団体及び教育・文化・福祉等団体関係者、学識経験者、一般公募委員で構成
学識経験者は都市デザイン・他地域の類似文化施設等の専門家

市民ワークショップ

.....◎新文化会館を活かしてどのような創造活動を行っていくかを多様に出し合う場（4～5回）
[20～30人] 文化活動実践者、学生、一般公募者で構成

専門家会議

.....◎舞台芸術や文化施設に関する専門的な知見を有する者からの助言を得る場（随時開催）
[7～8人] 舞台技術者、他地域の類似文化施設関係者で構成

施設利用者会議

.....◎利用者の視点からの意見提案を得る場（随時開催）
文化会館、鼎文化センター及び旧飯田市公民館ホール等の利用団体等

【事業スケジュールの見通し】

	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
基本理念の策定	■	■														
基本構想の策定		■	■	■												
基本計画の策定			■	■	■	■										
基本設計							■	■	■	■						
実施設計									■	■	■	■				
建設工事											■	■	■	■	■	■
整備検討委員会	■	■	■	■	■	■										
市民ワークショップ		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
専門家会議		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
施設利用者会議	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
市民意見聴取			■		■			■								

市町村と県による協働電子図書館

事業期間：令和4年度～8年度（令和4・5年度は試行）

貸出開始：令和4年8月 登録受付開始：飯田市は6月15日

市町村と県の協働で電子図書館を運営

事業目的

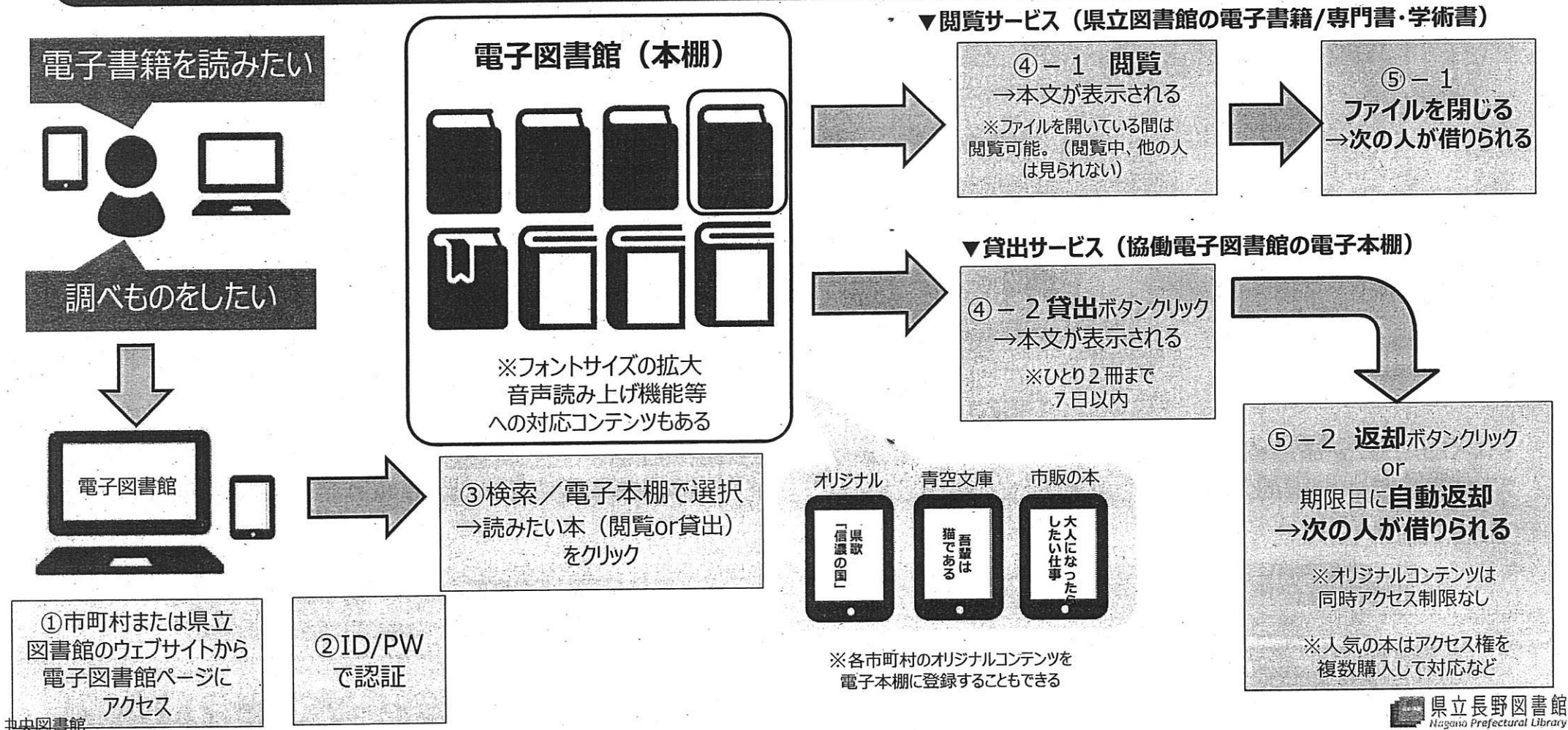
全ての県民が、居住する地域や年齢、障がいの有無にかかわらず、いつでも、どこでも、無償で、必要とする情報（電子書籍）にアクセスできる環境を、県内の公共図書館・公民館図書室が連携協働し整備することで、県民の「学びの基盤づくり」と「公正な社会づくり」に寄与する。

市町村と県による協働電子図書館



図書館用の電子書籍サービス（電子図書館）とは

従来の図書館同様に、電子本棚からデジタルの本を借りて読むことができるサービス



飯田市美術博物館・飯田市考古博物館

2022.4-2023.3

飯田城絵図(下伊那教育会蔵) 堀親昌書状(長姫神社蔵)



リニアがもたらす大交流時代に「飯田の価値と魅力」を発信し
学びあい未来をひらくミュージアム

特別陳列

南アルプスジオパーク ジオサイトを巡る

7/2(土)～9/19(月・祝)

遠山郷を含む南アルプスのダイナミックな大地の
履歴と地形地質の魅力を、南アルプスジオパーク
のジオサイトを中心に紹介します。合わせて、その
大地の上に展開する生き物たちの多様性などエコ
パークについても触れます。



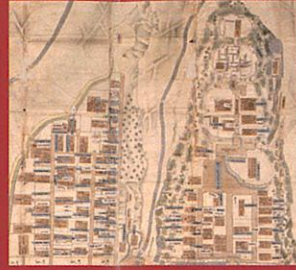
下果の里から見た南アルプス

特別展

城下町飯田と飯田藩

9/23(金・祝)～11/6(日)

城下町飯田のなりたちから人びとのくらしぶり、明治維
新以後昭和22年の飯田大火からの復興、城下町から近
代的な防災都市へと再生した町の様子などを紹介し、城
下町飯田の来し方行く末を考えます。



飯田城絵図(部分) 下伊那教育会蔵

第23回 現代の創造展 —南信州のアートと共に創る— 11/20(日)～12/11(日)

飯田下伊那に在住または出身で現在活躍
する作家の作品を、実行委員の推薦方式
で展示します。地域から新しい創造を発信
する展覧会です。



第22回現代の創造展会場

特別展

美術と風土 —アーティストが触れた伊那谷— 3/25(土)～4/16(日)

伊那谷—東海—京阪神を結んだ地域で活躍す
る現代作家が、伊那谷を訪れた経験から作品
を制作します。伊那谷という風土が作家にどん
なインスピレーションを与え、いかなる創造が
生まれるのでしょうか。

	2022年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	4月
菱田春草 常設展示	第33期 春草と綿五原家 コレクション ～4/24(日)	第34期 美術学校での学び —春草の基礎学習— 4/29(金・祝)～5/29(日)	第35期 墨の情趣 —春草の水墨表現— 6/11(土)～7/24(日)	第36期 彩の魅力 —春草の色彩表現— 7/30(土)～8/28(日)	第37期 菊慈童に迫る —春草と朦朧体— 9/3(土)～10/2(日)	第38期 故郷の足跡 —春草と飯田— 10/8(土)～11/6(日)	第39期 西洋美術との出会い —春草の海外遊学— 11/12(土)～12/11(日)	「落葉」から「黒き猫」へ —複製画で見る晩年の名画— 12/17(土)～2/5(日)	第40期 画家たちの研鑽 —春草と美術院— 2/11(土)～3/12(日)	第41期 面白味を求めて —春草の装飾表現— 3/18(土)～4/16(日)			
特別展 企画展 特別陳列 コレクション展 ロビー展	コレクション展示 綿半野原コレクションの陶磁器2022 うつわの絵ごころ ～5/22(日)	コレクション展示 正宗得三郎 色彩の音楽 ～4/10(日)	コレクション展示 農の日本画家 仲村進 4/23(土)～6/19(日)	コレクション展示 須田剋太と書 6/11(土)～8/7(日)	コレクション展示 生誕160年 安藤耕斎 8/11(木・祝)～9/11(日)	特別展 城下町飯田と 飯田藩 9/23(金・祝)～ 11/6(日)	第23回 現代の 創造展 南信州の アートを 共に創る 11/20(日)～ 12/11(日)	コレクション展示 伊那谷の洋画、花ひらく 12/17(土)～1/29(日)	コレクション展示 藤本四八—画室訪問— 12/17(土)～3/12(日)	子ども美術学校 中学生造形教室 作品展 1/27(金) ～2/12(日)	コレクション展示 版画—イロとクロ— 2/4(土)～3/12(日)	特別展 美術と 風土 アーティストが 触れた伊那谷 3/25(土) ～4/16(日)	
トピック展示 [自然]	春を彩るスマイル ～5/29(日)		夏だ! 虫だ! クワガタだ!! 6/8(水)～9/25(日)				トンネルの中から地中をのぞく 9/27(火)～1/29(日)			南アルプスのアンモナイト化石 1/31(火)～			
トピック展示 [文化]	元善光寺のご開帳 ～5/29(日)		飯田城から追手町小学校へ 6/8(水)～9/11(日)		飯田町の学問と文化 9/13(火)～12/11(日)		伊那谷を襲った近世の2つの地震—遠山地震・安政東海地震— 12/17(土)～3/12(日)		りんご並木と田中芳男 3/15(水)～				
開館日 カレンダー	2022.4 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	5 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	7 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	9 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	10 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	11 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	12 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2023.1 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	3 月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	

トピック展示 [自然]

夏だ! 虫だ! クワガタだ!!

6/8(水)～9/25(日)

長野県にはどんなクワガタがいるのでしょうか? 標本とパネルで
紹介します。



春に出現するルリクワガタ類

トンネルの中から地中をのぞく

9/27(火)～1/29(日)

矢筈トンネルの石から地中を探ります。

南アルプスのアンモナイト化石

1/31(火)～

伊那市長谷戸谷のアンモナイトを中心に紹介します。

トピック展示 [文化]

元善光寺のご開帳

～5/29(日)

飯田城から追手町小学校へ

6/8(水)～9/11(日)

飯田町の学問と文化

9/13(火)～12/11(日)

伊那谷を襲った 近世の2つの地震 —遠山地震・安政東海地震— 12/17(土)～3/12(日)

2つの地震から被害状況や学ぶべき視点を引
き出し、歴史地震研究の一助となることを目指
します。

りんご並木と田中芳男

3/15(水)～

わくわく美博で夏休み 2022

夏休み中の土・日・祝日に美博ならではの楽しく多彩なワー
クショップを開催します。
※日程・内容は7月頃にお知らせします。

藤本四八記念 小中高生写真賞 (しんきん賞他)

子どもたちの写真を募集します。ぜひ、ご応募ください。
(詳細は別途広報いたします)

・作品募集 9月～11月 ・表彰式 1月 ・作品展示 1月～3月



へんてこマスコットをつくろう (2021)

プラネタリウム天歩 - tempo -

90席
(コロナ対策45席)

◆プラネタリウム投影予定表 (新型コロナウイルス感染症の状況により変更場合があります)

投影時刻		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土・日・祝 学校長期休み	10:00 ↓ 10:30	あーしたてんきになあれ!			ヤドカリくん、ほしをみに			ぼんたのたからもの			こまねこのクリスマス	星夜の幻灯会		プラネタリウムで チコちゃんに叱られる
	13:00 ↓ 14:00	ガイアの銀河 飯田さくらものがたり/動物園へ行こう			リラックマのプラネタリウム 人形劇のまち飯田			天球のものがたり 遠山川の埋没林			プラネタリウムで チコちゃんに叱られる! 田中芳男		賢治の星座早見	
	15:30 ↓ 16:30	ひかりのせかいへ 生きている大地			ガイアの銀河 御池山隕石クレーター			リラックマのプラネタリウム 飯田のりんご並木			天球のものがたり 遠山霜月祭/風越山		プラネタリウムで チコちゃんに叱られる	
平日	10:00 ↓ 17:00	予約投影												

※1 10:00からの回は小さいお子さま向けの約30分の短い投影です。

(その他の回は星空解説、プラネタリウム番組、オリジナル番組の3本立てで投影時間は約60分です。)

※ 小・中学校の長期休み期間 (夏休み7/26~8/19、冬休み1/4~1/6、春休み3/28~3/31) は、土日祝日と同じスケジュールで投影します。

※ わくわく美博で夏休み・プラネタリウムまつりの際は、投影内容が変更になります。そのほか事情により投影内容を変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

◆一般投影

解説員による星空案内とプラネタリウム番組、地域の魅力をドーム映像で描くオリジナル番組を組み合わせて投影します。

◆予約投影

3か月前から1週間前まで団体予約 (10名以上) を受け付けています。平日の10:00~17:00までの時間帯に、希望の内容・番組で投影します。詳しくはお問い合わせください。

※心身の事情により長時間の投影や他の人と一緒に観覧することが難しい場合は、10名未満でも対応できる場合があります。まずはご相談ください。

星空観望会

季節の星座や見頃の天体を、望遠鏡などを使って観察します。2022年度のメインテーマは「星座の世界」。市内各所へ出かけての「飯田星空観望会」も計画しています。

[夜桜期間] ※桜の開花状況にあわせて「夜桜観望会」を予定しています。

5/28(土) 19:30 ~ 21:00

春の星座と大曲線

8/4(木) 19:30 ~ 21:00

伝統的七夕と夏の星座

10/1(土) 18:30 ~ 20:00

秋の星座と惑星

11/8(火) 17:30 ~ 20:30

皆既月食観望会

2/25(土) 19:00 ~ 20:30

冬の星座とダイヤモンド



南の天の川 武井健治氏撮影

その他、天文現象にあわせて臨時的観望会を実施することがあります。

特別投影

季節の星空や注目したい天文現象、話題の天文ニュースなどを解説員が生解説で紹介する特別投影を開催します。

4/23(土)

「星座と神話を旅する～おとめ座と春の星座～」

6/25(土)

「野尻抱影を読む」

10/22(土)

「星座と神話を旅する～ペルセウスと秋の星座～」

11/23(水・祝)

「ぐっすりプラネタリウム」

12/17(土)

「2023年の天文現象」

飯田市考古博物館

原始・古代の人々の生活道具や生活ぶりの移り変わりを展示しています。

夏休み考古塾「Enjoy 古代!」 7/23(土)~8/21(日)

夏休みの思い出になるような楽しいワークショップを用意して皆さんをお待ちしております。一課題・一研究に困ったらぜひ相談に来てください。

① 縄文土器を作ってみよう 7/24(日)

縄文人が作った土器をまねて作ってみよう。野焼きをして完成です。

③ 古代クッキング 8/7(日)

土器でご飯を炊いたり石器で食材を切ってお昼ご飯を作ろう。火起こしもするよ!

② 古代のお金づくり 7/31(日)

金属を溶かして型に流し込み富本銭や和同開珎を作ってみよう。

④ 玉造工房 8/21(日)

古代人が大切にしていたまが玉などを石を削って作ります。最後に色付けもするよ!

ワークショップ

① ぎやまん工房

ガラスをバーナーで熱し、棒に巻き付けてトンボ玉を作ります。

4/17(日) 6/2(木)
10/16(日) 2/19(日)

② 古代のお金づくり

1/9(月・祝)

体験・見学会

歴史探検隊

11/6(日)

歴史や文化の探訪をします。



考古博物館

発掘体験教室

文化財保護活用課が発掘調査している遺跡で発掘体験してみませんか。

日程や場所などは後日お知らせします。

講座・ワークショップ等

2022.4－2023.3

「伊那谷の自然と文化」の魅力に触れ、楽しく、深く〈学び〉〈交流〉する機会として、講座・ワークショップ・見学会などを数多く開催しています。

美術講座（全3回）

「表現をひらく」

5月～10月の間で開催予定です。日程は4月以降に決定します。※くわしくは改めて広報いたします。

美術鑑賞の会

【時間】18:30～20:00

夜間に行う鑑賞会です。

- 9／30(金) 第36回 菱田春草《菊慈童》
11／25(金) 第37回 菱田春草《夕の森》と横山大観《月あかり》

春草講座「作品・資料から読み解く」(全3回)

【時間】18:30～20:00

春草を知るための連続講座です。

- 9／7(水) 第1講 菱田春草の金と銀 講師：加納向日葵(本館学芸員)
10／12(水) 第2講 菱田春草と飯田町 講師：小島淳(本館学芸員)
11／2(水) 第3講 古画と写真の研究 講師：小島淳(本館学芸員)

文化講座（全10回）

【時間】13:30～15:00(見学会は9:30～12:00)

「トピック展示」のテーマに沿って、伊那谷の歴史文化について学びます。

- 4／17(日) 「善光寺信仰と元善光寺」 講師：織田顕行(本館学芸員)
5／22(日) 「山岳信仰と修験道」(伊那民俗学研究所共催事業) 講師：鈴木正崇氏(慶應義塾大学名誉教授)
6／12(日) 「日夏耿之介の足跡を訪ねて」(見学会) 案内：織田顕行(本館学芸員)
7／10(日) 「城下町人の地子米と上飯田村」 講師：前澤健氏(本館評議員)
8／21(日) 「柳田国男と飯田」 講師：近藤大知(本館学芸員)
10／2(日) 「飯田城と城下町を歩く」(見学会) 案内：「城下町サポーター」(仮称)の皆さん
10／15(土) 「「結構なる城地」一堀家飯田藩と城下町飯田」 講師：吉田伸之(飯田市歴史研究所所長)
11／3(木・祝) 連続講座「城下町飯田と飯田藩」 講師：下平博行、伊坪達郎氏、青木隆幸
1／22(日) 連続講座「飯田を襲った2つの地震」 講師：坂本正夫氏、青木隆幸、近藤大知
3／19(日) 「博物館の父は飯田からはばいた一田中芳男がねがったもの」 講師：青木隆幸(本館専門研究員)

自然講座

【時間】13:30～15:00

- 4／29(金・祝) 伊那谷に大被害を与えた168年前の安政東海地震 講師：坂本正夫氏(本館客員研究員)
5／29(日) 海底軽石火山―浮遊しない軽石の話― 講師：湯浅真入氏
6／26(日) 気候変化と文明の盛衰は関係するか? 講師：山田 桂氏(信州大学教授)
7／31(日) 南アルプスジオパークの観光とガイド 講師：坂本正夫氏(本館客員研究員)
8／28(日) 伊那谷の領家帯を中心とした鉱物と岩石の魅力 講師：手塚恒人氏(伊那谷自然友の会)
9／11(日) 御岳山麓の自然と火山灰 講師：桐生和樹氏(開田中学校教諭)
10／8(土) イワツバメについての3つの謎 講師：西 教生氏(都留文科大学非常勤講師)
11／12(土) りんご園に生息する絶滅危惧種 - アカモズの生態 - 講師：松宮裕秋氏(株)環境アセスメントセンター)
12／17(土) 冬の蛾のお話 講師：四方圭一郎(本館学芸員)
1／21(土) のぞいてみよう!ハエの世界 講師：酒井淳一氏(双翅目研究家)
2／11(土・祝) 高山植物たちの生き残り戦略 講師：千葉悟志氏(大町山岳博物館学芸員)

子ども美術学校（全7回）

5月～12月に開校。

小学校4年生から6年生を対象とした
絵画・工作の基礎講座です。
4月に生徒を募集します。

子ども美術学校作品展

1／27(金)～2／12(日) 市民ギャラリー



自然講演会

5／8(日) 南アルプス(中央構造線エリア)
ジオパークの魅力再発見
講師：高木秀雄氏(早稲田大学教授)

日本画実技講座

滝沢具幸館長を講師に、日本画の技法を実践したり、実技指導をしたりする講座です。
2月に連続2日間実施します。

ゼロから始める古文書

【時間】10:00～11:30
【受講料】資料代100円(1回ごとが必要です)
古文書の基礎を学び、取り扱い方等の習得まで行います。講師：歴史研究所、本館職員

- I 班 毎月第1水曜日
II 班 毎月第3土曜日

電子顕微鏡観察・自然相談

電子顕微鏡で微の世界をご覧いただけます。
自然学芸員が自然分野の相談にも応じます。

- ・期日 4～11月の第1・3日曜日
・時間 11:00～12:00、14:00～15:00

※諸事情により開催しない日もあります。
ホームページでご確認ください。

追手町小学校化石標本室

長谷川善和博士(飯田市千代出身)が収集した化石や骨格標本を展示しています。地元下伊那産の化石の他に、世界の化石を見ることが出来ます。

- ◆公開日 10:00～16:00 観覧無料
5月3・4・5・21・22日、7月23・24日
8月13・14日、9月17・18日
10月8・9・10・22・23日
11月5・6日、3月25・26日(20日間)

※事前の申込みにより、上記の日程以外にも
観覧いただくことが出来ます。

子ども理科教室

小中学生を対象とした生きものや化石などに
親しむワークショップです。開催日時、内容は、
チラシ・ホームページ・広報いいだなどで
ご案内します。

中学生造形教室（全3回）

6月～12月に開校。

中学生を対象とした絵画・工作の造形講座です。
4月に生徒を募集します。

中学生造形教室作品展

1／27(金)～2／12(日) 市民ギャラリー

ご利用案内

■開館時間 9:30～17:00(入館受付は16:30まで)

■休館日 (中面の休館日カレンダーをご覧ください)
月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土日を除く)、
年末年始(12／29～1／3)、その他臨時休館日

■観覧料

美術博物館	一般	高校生	小・中学生
特別展	展覧会ごとに観覧料が異なります。		
コレクション展	310円(210円)	200円(150円)	100円(80円)
菱田春草常設展			
自然・文化展示室	150円	100円	50円
柳田國男館	無料	※平日は本館受付へお申し出ください。	
日夏耿之介記念館	無料	※平日は本館受付へお申し出ください。	
市民ギャラリー	無料	※最終日は16:00まで	
年間パスポート	シングル	1,500円	展覧会・プラネタリウムを1年間何回でも。 美術博物館の販売物を割引価格でお求めいただけます。
	シングルプラス	2,000円	
	ファミリー結い	2,500円	

※()内は20人以上の団体料金、割引料金、セット料金です。
※展示とプラネタリウムのセット割引もあります。
※川本喜八郎人形美術館、竹田扇之助記念国際系操り人形館との共通券もあります。

プラネタリウム	一般	高校生	小・中学生
観覧料	250円(200円)	150円(120円)	50円(30円)
※幼児は無料。ただし座席をご利用になる場合は、小・中学生の料金となります。			

考古博物館	一般	高校生	小・中学生
常設展・秀水美人画 美術館共通	200円(160円)	150円(120円)	100円(80円)

◆観覧料の無料・割引〈美術博物館・考古博物館共通〉

- 国際博物館の日(5/18)・春草ウィーク(9/13～9/19)は美術観覧無料です。
- 人形劇フェスタワッペンで小・中・高校生は無料。(プラネタリウムは除く)
- 障がい者手帳をお持ちの方と付添1名は、団体割引料金です。(要手帳提示)
- 割引優待 提携している割引券・会員証で団体割引料金です。
- ※展覧会・常設展示の解説を希望される場合は、事前にご相談ください。

■レファレンスルームのご利用(美術博物館)

美術・人文・自然関係の専門図書をルーム内で閲覧できます。ご利用は無料です。
開室時間：毎週土・日曜日・祝日(臨時休館日は除く)
9:30～12:00、13:00～17:00

■伊那谷の自然と文化に関するお問い合わせ・ご相談

資料に関する質問や学習・調査研究の方法について、美術・人文・自然・天文(美術博物館)、考古(考古博物館)の学芸員、専門研究員がご相談にお応えします。お気軽にお問い合わせください。

■市民ギャラリーの使用(美術博物館)

使用料は1日毎に2,500円です(冷暖房費別途必要)。また、貸出は、原則として6日間を1単位とします。使用ご希望の方は、毎年度2月第1日曜日の抽選会にご参加ください。(以後、空きがある場合は随時受け付けます。)

市民のみなさまの学習をお手伝いします

学芸員・専門研究員が「伊那谷の自然と文化」等について、市民のみなさま(個人・グループ・学校など)の学習をお手伝いします。

■市民グループのみなさまへ

グループの企画事業として、「伊那谷の自然と文化」について少し掘り下げて知りたい場合にご利用ください。

■小・中学校、高校のみなさまへ

さまざまなテーマについて、深く学習したい総合学習などにご利用ください。菱田春草の複製画を用いた鑑賞学習ができます。また、先生方へは美術博物館の利用方法、展覧会の見どころなどの講習等を行うこともできます。

■ご利用方法

日時、内容についてお気軽にご相談ください。館外出張も可能ですが、館内であれば展覧会の鑑賞や見学、館蔵資料の閲覧、プラネタリウムや大型スクリーン、電子顕微鏡などの設備利用を組み合わせることが出来ます。

■お手伝いできる内容

【展覧会・コレクション展示・常設展示】

展示の解説をします。

【柳田國男館・日夏耿之介記念館】

展示の解説をします。

【追手町小学校化石標本室】

展示の解説をします。

【テーマ別の学習】

講堂や科学工作室において、「伊那谷の自然と文化」に関

わるテーマで講座や学習会、ワークショップなどをするこ

ができます。

【美術】菱田春草、郷土作家、日本美術など

【人文】仏像、民俗、芸能、飯田城、飯田の人物など

【自然】動植物、地質、化石、電子顕微鏡など

【プラネタリウム】天文、オリジナル番組など

【考古】勾玉、とんぼ玉、土器づくり、遺跡、古墳、城郭など

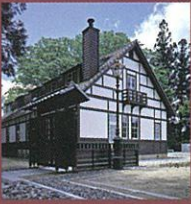
2022.4－2023.3

付 属 施 設

美術博物館敷地内 【国登録有形文化財】

柳田國男館

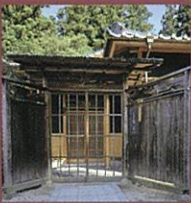
日本民俗学の創始者・柳田國男の書斎にて、その業績と飯田との関わりを紹介しています。今年は没後60年を迎えるにあたり、その功績を振り返ります。



美術博物館敷地内

日夏耿之介記念館

日夏耿之介が晩年を過ごした邸宅を復元し、遺愛の品々を展示しています。



考古博物館敷地内

秀水美人画美術館

年4回展示替えを行います。
①～6/2(木)
②6/4(土)～9/1(木)
③9/4(日)～12/1(木)
④12/4(日)～3/2(木)
⑤3/5(日)～



飯田市南信濃和田1192 Tel.0260-34-2355

遠山郷土館

遠山谷の歴史とその中で育まれた霜月祭や文化財などを展示・紹介しています。
大人310円(高校生以上)
小人100円(小学生未満無料)



飯田市上村上町753 Tel.0260-36-2005

上村まつり伝承館 天伯・ねぎや

秋葉街道沿いに開いた上村の歴史・民俗・自然の姿を紹介し、霜月祭を保存伝承する施設です。
大人 200円(高校生以上)
小・中学生 100円



飯田市美術博物館

〒395-0034 飯田市追手町2丁目655番地7
TEL.0265-22-8118 FAX.0265-22-5252

交通／JR飯田駅から徒歩20分
高速バス終点「飯田商工会館」から徒歩5分
中央自動車道飯田ICから車で15分
座光寺SICから車で15分

<https://www.iida-museum.org>

飯田市考古博物館

〒395-0003 飯田市上郷別府2428番地1
TEL.0265-53-3755 FAX.0265-53-3756

交通／JR伊那上郷駅から徒歩10分
中央自動車道飯田ICから車で15分
座光寺SICから車で10分

<https://www.iida-museum.org/kouko>

●講座・講演会等催しへの参加方法

事前にお申込みいただくものや聴講料等の必要なものもございます。また、一覧表以外にも追加開催する場合や、やむをえない事情で変更や中止になることもございます。くわしくはホームページ・広報いいだ、新聞などでお確かめください。

施設の利用について

●利用時間

飯田市公民館、飯田駅前図書館、平和祈念館

🕒 8:30~22:00

●図書館司書 駐在時間

月・水・金 / 15:00~20:00 (祝日は不在)
土・日 / 10:00~18:00 (祝日も駐在)
※司書がいない時は、利用できない場合があります。

●休館日 年末年始(12月29日~1月3日)

●会議室等の利用申込み

受付時間 平日8:30~17:15

受付場所 飯田市公民館窓口(2階)

アクセス&駐車場のご案内



●地下駐車場(無料)

ツルハドラッグをご利用の方、障がいのある方、高齢の方が駐車できます。

●西側駐車場(無料・23台)

ムトスぶらざをご利用の方が駐車できます。

●市営駐車場(有料・70台) ●駐輪場(無料・20台)

ムトスぶらざ

MUTOSU PLAZA

〒395-0086 飯田市東和町2丁目35番地
丘の上結いスクエア2階、3階(愛称:ムトスぶらざ)

問い合わせ ※FAXは共有です

飯田市公民館 電話 0265(22)1132
ファックス 0265(22)1022

共生・協働推進課 電話 0265(22)4560

「ヒト」「コト」「モノ」が集まる創発の場

ムトスぶらざ

MUTOSU PLAZA



性別年齢国籍を問わず 市民の皆さんの「やってみたい」気持ちを 応援します！

ムトスぶらざは電車やバスなどの公共交通の結節点に近接しており、
飯田内外の方々が気軽に立ち寄れるコミュニティスペースとしてオープンしました。
1つのフロアが広く開放的になっており、お互いの活動を「見える化」しています。
様々な分野で活動している方、何かやってみようと思っている方が、一つのフロアへ
「日常的」に集まることで、さまざまな交流が生まれ、新たな発見ができる場所です。
ムトスぶらざで皆さんの「やってみたい」を実現しましょう。



館内の床・柱・梁の「躯体現し」は当初建設
当時のコンクリート躯体を仕上げとしてい
ます。建設時からの歴史とデザイン性が
感じられます。

■施設概要

飯田市 公民館 2F・3F	3F 飯田駅前図書館
	3F 平和祈念館
	教育支援センター 3F ぴーいんぐ

■ムトスとは

「ムトス」という言葉は、広辞苑にも掲載されている言葉
「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が
込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。
飯田市では「ムトス」を地域づくりの合言葉にし、「愛す
る地域を想い、自分ができるところからやってみよう」とする
自発的な意志や意欲を原動力にした地域づくりをめざし
ています。

■機能概要

多様な機能が入ります！

公民館活動	図書館
平和学習	教育支援
ムトスまちづくり活動の交流・支援	
次世代学習交流支援	
女性活躍応援	
多文化共生推進	
内外の連携・交流推進	

ムトスぶらざでなにができる？！



交流 Community

- 広いフリースペース、シェアスペースで新たな
出会いがあるかも
- 様々な活動が見えるから、やってみたいことが
増えるかも
- 性別、年齢、国籍を問わず、様々な人と出会う

やってみる Challenge

- 踊り、絵画、合唱などグループで活動したい。
- ステージで発表したい。イベントやってみたい。
- 地元の食材を活かした料理をつくってみたい。



まなぶ Learning

- 講座や講演会で学びたい。
- 気軽に本を楽しむ。本から興味や関心が広がる。
- 平和について考えてみたい。

支援 Support

- 創発コーディネーターに相談する。
- ムトス飯田助成、チャレンジ助成で支援を受ける。
- みなさんが安心できる場所を提供します。



Floor Map



要予約



防音



給湯



シャワー



トイレ

平和祈念館



教育支援センター「ビーいんぐ」

お問い合わせ ☎0265-22-3562
8:30～17:00(月～金曜日)

図書館



中会議室

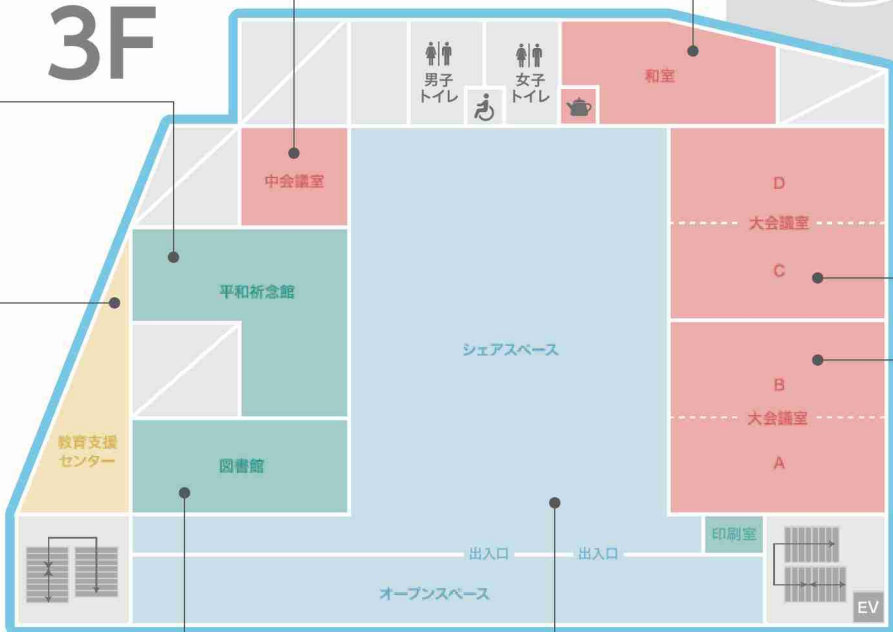


給湯付



和室

3F



パーティションなし



パーティションあり



大会議室
A・B・C・D
※A・Bのみ防音

シェアスペース



XR室



リハーサル室



女子トイレに
パウダールーム



トイレ



授乳室

ホールが見える!
(カーテン付き)

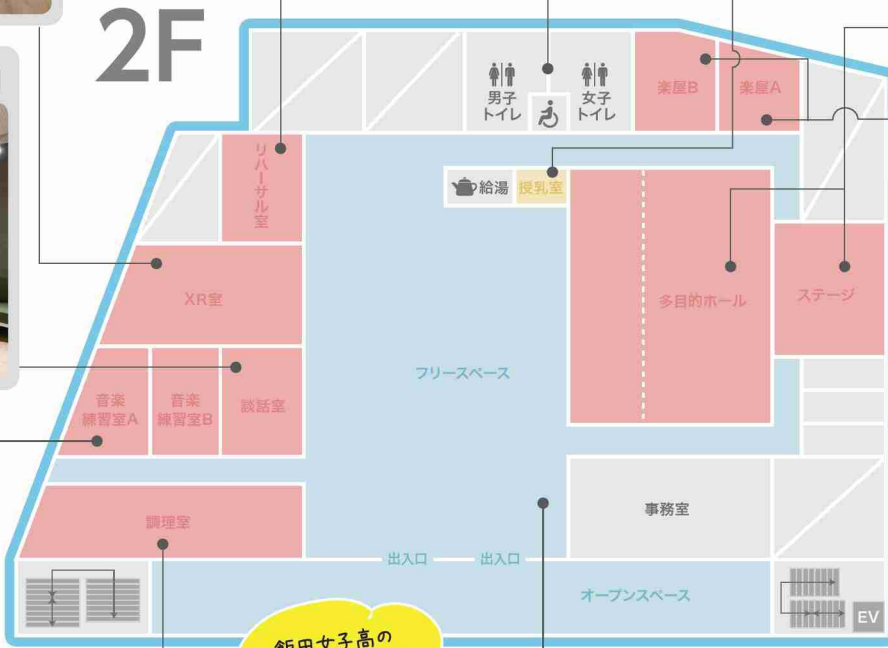
多目的ホール&ステージ



談話室



2F



楽屋A・B



楽屋Bは
シャワー付

音楽練習室A・B



調理室



飯田女子高の
生徒さんのデザイン



フリースペース

